

2015 DAIWA KAWAHAGI OPEN

2015 ダイワカワハギオープン



決勝大会 大会結果

開催日	2015年11月28日	天候	晴れ
開催場所	久比里(竹岡沖)	気温	16.0℃
参加人数	18名	水温	17.6℃



風もなく、穏やかな釣り日和となった決勝戦。今年は全国大会となり、鹿児島予選から1名、関西・東海予選から4名招待選手が参加し、関東予選を勝ち上がった12名に昨年優勝者のシード選手を入れ、総勢18名での闘いとなった。

注目の釣り座抽選では、昨年準優勝の増澤選手が左舷ミヨシを、佐藤選手が右舷ミヨシを引き当てる。トモには加太予選から参加の鈴木康一選手とDKO決勝初参加の宮本選手が入った。昨年優勝の宮澤選手が右舷の6、昨年準優勝の石田選手が左舷7と、胴の間となった。

右舷の選手



左舷の選手





下げ潮で始まった決勝戦。

始めの流しからカワハギをバタバタと釣り上げる選手たち。その中でも1次、2次と船中トップで通過した鶴岡選手がスタートダッシュに成功する。1時間もかからず最初のツ抜け選手となる。

試合中盤に差し掛かると、勢いが止まり、こう着状態が続く。そんな中、右舷トモの宮本選手、右舷胴の間の宮澤選手がしぶとく拾い続け、鶴岡選手を追う展開となる。

12時になり、潮が止まると一気に試合が動く。辛抱の釣りが続いていた左舷の選手が一気に攻勢をかける。田淵選手、鈴木政光選手などダブル連発で派手に釣り続ける。右舷も負けてはいない。宮澤選手を筆頭にコンスタントに拾っていく。



序盤から名手達の熟練の技が光る。

試合も13時をまわり残り1時間となると、これまで沈黙していた右舷 田口選手、加太予選から参加の小坂選手、鹿児島予選を勝ち抜いた園田選手が怒涛の釣果で追い上げていく。中でも決勝初参戦の田口選手は、残り1時間で20尾という驚異の追い上げで他の選手をごぼう抜き。となりに座った宮澤選手も驚きを隠せないが、平常心を保ち、コンスタントに拾っていく。試合終了となり、検量の結果、宮澤選手が船中唯一の40枚越えで2連覇を達成。2位には怒涛の追い上げで田口選手が滑り込み、3位は序盤に数を伸ばした鶴岡選手が入った。



時間を追うごとに、良型が目立ってきた。



ラスト1時間で順位が変動する激しい戦いになった。

宮澤選手、驚異の釣果。

今年は全国大会となり、総勢639名(延べ参加人数757名)の参加となりました。

ご協力いただきました各船宿様には感謝申し上げます。

またこれまでご参加いただいた全選手の皆様にも、この場をお借りして御礼申し上げます。来年もスタッフ一同さらに良い大会になりますよう、努力する所存です。是非来年もご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。



優勝:宮澤 幸則選手

2連覇できて、正直な感想を言えばほっとしています。シードをいただいて、予選が無い中で決勝に臨むのは難しさを感じました。その中で、タックルを信じ、技術を信じ、メンタルを信じた結果、カワハギが自分のところに集まってくれたようにも思えます。釣座としては胴の間を引いてしまったんですが、潮が利いていなかったため前からも後ろからも魚は来ると思いました。そこを取りこぼしなく釣れたことが勝因かなと思っています。スタートダッシュが苦手なのですが、時間が進むにつれて自分の釣りを展開できたことも大きかったです。来年は3連覇を目指します！



準優勝:田口 誠治選手

はじめての決勝ですごく緊張しました。すぐ横の釣座に宮澤選手がいらっちゃって、いいリズムで釣り上げていたのを見て、前半は自分のペースで釣ることが出来ませんでした。後半に取り戻して、1時間に20枚釣り上げられたのが2位になれた要因だと思います。更に技術を磨き、釣れない時間をなるべく無くして、またリベンジしたいと思っています。



3位:鶴岡 克則選手

前半は自分の得意なワッペン場だったので、そこで数を稼いで3位に入ることができました。後半に何枚か取り逃がしたことは痛かったです。また後半に周囲がラッシュをかけていく中で焦りが生まれてしまったことは反省ですね。釣りはメンタルが重要だとあらためて思いました。反省を生かして来年は表彰台の一番高い所に上られるよう精進したいと思います。



みよし

	枚数 21	15位 増澤 始 選手 左-1	右-1	17位 佐藤 俊仁 選手	枚数 14	
	25	9位 岩上 栄司 選手 左-2	右-2	9位 石井 康夫 選手	25	
	11	18位 鈴木 泰成 選手 左-3	右-3	11位 園田 義照 選手	24	
	26	6位 鈴木 正光 選手 左-4	右-4	3位 鶴岡 克則 選手	31	
	22	14位 田淵 雅生 選手 左-5	右-5	6位 橋本 祐治 選手	26	
	31	4位 新井 勝仁 選手 左-6	右-6	優勝 宮澤 幸則 選手	41	
	24	11位 石田 昌伸 選手 左-7	右-7	準優勝 田口 誠治 選手	32	
	17	16位 川名 博章 選手 左-8	右-8	6位 小坂 歩 選手	26	
	24	11位 鈴木 康一 選手 左-9	右-9	5位 宮本 英彦 選手	29	

順位	お名前	住所	釣座	匹数
優勝	宮澤 幸則	東久留米市	右-6	41
2	田口 誠治	東大和市	右-7	32
3	鶴岡 克則	君津市	右-4	31
4	新井 勝仁	越谷市	左-6	31
5	宮本 英彦	江東区	右-9	29
6	小坂 歩	堺市西区	右-8	26
6	鈴木 正光	横浜市南区	左-4	26
6	橋本 祐治	高知県吾川郡	右-5	26
9	石井 康夫	大田区	右-2	25
9	岩上 栄司	袖ヶ浦市	左-2	25
11	石田 昌伸	大田区	左-7	24
11	鈴木 康一	豊橋市	左-9	24
11	園田 義照	鹿児島市	右-3	24
14	田淵 雅生	中野区	左-5	22
15	増澤 始	横須賀市	左-1	21
16	川名 博章	君津市	左-8	17
17	佐藤 俊仁	千葉市中央区	右-1	14
18	鈴木 泰成	愛知県知多郡	左-3	11

※敬称略

※コンピューターでの表示のため、旧漢字等を修正させていただいております。予めご了承ください。

※釣った魚の総匹数で順位を決定いたします。同匹数の場合は、5位までは、釣った魚1匹の最大重量で決定いたします。

※決勝大会の優勝者には次年度決勝大会のシード権が、2位・3位には二次予選又は東海決勝のシード権が与えられます。

決勝大会観戦ツアー

カワハギオープン決勝戦に合わせて、豪華ゲストをお招きして観戦しながらカワハギ釣りができる決勝大会観戦ツアーも行われました。

観戦ツアー船内では、早掛け大会なども行われ、決勝船に負けない盛り上がりを見せていました。また、決勝船にも接近するので、決勝船の臨場感、緊迫感も味わえたかと思います。優勝者当てクイズも催され、見事予想を当てた方には賞品も用意されました。



決勝船を間近で見られます。



決勝船をバックに。



早掛け大会は大盛り上がり。豪華賞品をゲット！



宮澤選手を優勝者に予想した方はなんと8名いらっしゃいました。



ゲストの児島さん、あべさん、晴山さん、ありがとうございました！